



沖縄米軍で 感染者激増

詳細は非公開

米軍は全ての情報公開を

沖縄県の米軍基地で、新型コロナの感染が7月に入り13日までに95人にのぼりました。しかし米軍は、感染者の所属や行動履歴など詳細を明らかにしていません。沖縄県は、感染者数の公表、米国からの移動禁止、基地外のホテルで行う移動制限措置の基地内実施などを求めています。日米政府はこの要求に答え、ただちに対応すべきです。

沖縄だけではなく、11日には神奈川県の大和市、綾瀬市が「基地内で複数のコロナ感染者が出た」と発表しました。佐世保（長崎県）、横須賀、座間（以上神奈川県）、横田（東京都）、三沢（青森県）など全国の基地でも発生しています。しかし沖縄同様、詳細は不明のままです。



日米地位協定を改定し国内法適用を



在日米軍基地は日米地位協定によって日本の法律が及ばず、検疫も米軍任せです。日本政府は、世界最大のコロナ感染国である米国からの入国は厳しく制限しています。しかし米軍だけは国を超えて頻りに部隊が移動し、日本国内で各地に移動して訓練を繰り返しています。国民がいくら努力しても、米軍基地から感染が広がりがねません。日本政府はただちに詳しい感染状況の公表を実現し、有効な措置をとるとともに、日米地位協定の抜本改定をすべきです。

0.9~2.5兆円!?

辺野古やめてコロナ対策へ

日本政府は沖縄・辺野古の米軍基地建設に9300億円超（県の試算は2.5兆円超）費やそうとしています。辺野古の基地は「日本防衛」とは無縁の、アメリカの「殴り込み部隊」海兵隊の出撃基地です。辺野古への巨額の税金投入はやめ、コロナ禍で苦しむ人々の生活保障にあてるべきです。

辺野古新基地建設中止と普天間基地撤去を求める署名にご協力を！

日本平和委員会 2020年7月発行
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
<http://j-peace.org/>
東京都港区芝1-4-9平和会館4階
TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277